

平成 23 年度 決算 に 係 る

定 期 監 査 調 書

平成 24 年 5 月

鳥取県立精神保健福祉センター

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	組織及び業務調べ	1 頁
4	職員の定員、現員調べ	1 頁
5	役付職員の調べ	2 頁
6	主な事業に関する調べ	2 頁
7	収入証紙取扱額調べ	8 頁
8	収入事務処理状況調べ	8 頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	9 頁
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	9 頁
11	不納欠損額調べ	9 頁
12	負担金、補助金、交付金、委託料支出状況調べ	10 頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	10 頁
14	財産に関する調べ	11 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
	(3) 債権	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	12 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	13 頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	13 頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	13 頁
19	寄附物件の受納状況調べ	13 頁
20	備品の処分状況調べ	13 頁
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	13 頁

精神保健福祉センター個別事項	
22	当該年度における業務の概要 14頁
23	技術指導・技術援助の実施状況..... 15頁
24	教育研修の実施状況..... 16頁
25	広報普及状況..... 20頁
26	精神保健福祉相談の受付状況..... 20頁
27	新規所内相談の実施状況..... 20頁
28	新規所外相談者の地域別状況..... 21頁
29	新規電話相談の実施状況..... 21頁
30	組織育成の状況..... 22頁
31	くらしの講座の実施状況..... 22頁
32	イブニングサークルの実施状況..... 22頁
33	通院公費負担医療・精神障害者保健福祉手帳交付判定の状況..... 22頁
34	鳥取県精神医療審査会における審査状況..... 23頁
35	主な施設の整備状況..... 23頁
36	意見、要望等..... 23頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

- (1) 指摘事項 該当なし
- (2) 監査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況 該当なし

3 組織及び業務調べ

課名	係名	課の主な所掌事務
こころの健康増進課	なし	1 精神保健及び精神障がい者の福祉に関する知識の普及に関すること。 2 精神保健及び精神障がい者の福祉に関する調査研究に関すること。 3 精神保健及び精神障がい者の福祉に関する相談及び指導のうち複雑又は困難なものに関すること。 4 「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」第45条第1項の申請に対する決定及び「障害者自立支援法」第52条第1項に規定する支給認定（精神障害者に係るものに限る。）に関する事務のうち専門的な知識及び技術を必要とするものを行なうこと。 5 各号に掲げるもののほか、精神保健の向上及び精神障がい者の福祉に関し必要な業務に関すること。
地域支援課	なし	1 精神障がい者の社会参加・社会復帰の促進に関すること。 2 精神保健及び精神障がい者の福祉に関する知識の普及に関すること。 3 精神保健及び精神障がい者の福祉に関する相談及び指導のうち複雑又は困難なものに関すること。 4 鳥取県精神医療審査会に関すること。 5 前各号に掲げるもののほか、精神保健の向上及び精神障がい者の福祉に関し必要な業務に関すること。

4 職員の定員、現員調べ

（平成24年 4月 1日現在）

区分	種別	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
		当該年度	24.4.1現在	当該年度	24.4.1現在	当該年度	24.4.1現在	当該年度	24.4.1現在	
定員		6	6	4	4	0	0	10	10	
現員		6	6	(1) 5	(1) 5	0	0	(1) 11	(1) 11	()内は現員のうち育児休業中職員
過不足(△)		0	0	+1	+1	0	0	+1	+1	
臨時職員		0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員		1	1	0	0	0	0	1	1	事務(1名) 「自殺対策情報センター」職員1名

5 役付職員の調べ

(平成24年 5月 1日現在)

職 名	氏 名	在 職 期 間	備 考
福祉保健部参事監 兼 所長 兼 地域支援課長	原 田 豊	年 月 20 7	
次長 兼 こころの健康 増進課長	大 塚 月 子	1 1	継続勤務 6年1月
地域支援課 主 幹	山 下 善 大	1 1	
(併) 地域支援課医長	植 田 俊 幸	5 7	本務 厚生病院医長
(兼) 主 幹	山 名 修	0 1	本務 東部総合事務所県民局 企画総務課課長補佐
(兼) 主 幹	奥 田 雅 裕	1 1	出納員 本務 東部総合事務所県民局 企画総務課主幹

6 主な事業に関する調べ

(平成23年12月31日現在)

事 業 名	概 要
自殺対策事業 ※経費については 精神保健福祉セ ンター運営費の 標準事務費 (6,089千円) 及び自殺対策事 業により対応	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目 的 自殺対策基本法では、自殺対策は地方公共団体の責務であり、地域の状況に応じて取り組むこととされており、市町村及び総合事務所福祉保健局等（以下、市町村等）の自殺対策の推進を図るため、専門的立場から技術的指導等を行った。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>○ 自殺対策情報センターの運営 [人材育成研修会]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村保健師等を対象に自殺予防ゲートキーパー指導者研修会を開催した。 (5月27日、参加37名) <p>※ゲートキーパーとは、地域や医療、保健、福祉、職場、教育などの分野における支援活動において、自殺のサインに気づき、見守り、必要に応じて関係する専門相談機関へつなぐ役割が期待される人材のこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度作成した「自殺予防のための相談対応の手引き」を市町村等が行うゲートキーパー養成研修用テキストとして使用した。 <p>[情報収集・情報提供]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自殺に関する統計データをまとめた「鳥取県の自殺」を作成した（今後、市町村等に配布予定である。） ・市町村等が行う講演会や啓発物の紹介、統計データ等を、市町村等の担当者へのメール送信により情報提供を行った。（12回） <p>[関係機関のネットワークの強化]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各総合事務所福祉保健局の担当者を集めた連絡調整会議を開催し、各圏域ごとの取組みについて情報交換等を行った。（2回） ・各総合事務所福祉保健局が開催する自殺対策担当者連絡会、相談窓口担当者連絡会に参加し、各機関の取組み状況について情報収集するとともに、情報提供、助言等を行った。

事業名	概要																						
	<p>○技術的指導、援助（主なもの）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日南町こころの健康づくり事業 日南町ネットワーク会議及び研修会（11/24）、こころの健康づくり連絡会及びこころの健康相談（5/31、8/4、10/6、12/20）等に出向き助言等を行った。 ・中部総合事務所及び管内市町の「眠れてますか？睡眠キャンペーン」 自殺対策担当者連絡会での助言のほか、講演会（6/4、12/6）、管内市町が行う講演会、ゲートキーパー研修会等への講師派遣等技術的援助を行った。 <p>○自死遺族の集い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回、鳥取市さざんか会館（偶数月）と米子市ふれあいの里（奇数月）で、土曜日に開催した。 <p>[参加者数] (単位:人、括弧内は新規再掲)</p> <table border="1" data-bbox="501 667 1417 752"> <tr> <td>鳥取</td> <td>4月</td> <td>2(2)</td> <td>6月</td> <td>3(1)</td> <td>8月</td> <td>5(3)</td> <td>10月</td> <td>3(0)</td> <td>12月</td> <td>4(0)</td> </tr> <tr> <td>米子</td> <td>5月</td> <td>1(0)</td> <td>7月</td> <td>1(0)</td> <td>9月</td> <td>1(1)</td> <td>11月</td> <td>2(1)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>イ 平成23年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 今年度は自殺予防ゲートキーパーの養成に重点を置くこととし、指導者研修を年度当初に開催したほか、研修用テキストを活用してもらうなどして、市町村等がゲートキーパー養成研修に組みやすいよう支援を行った。</p> <p>ウ 成果 市町村等においてゲートキーパー養成研修が取り組まれるようになった。 25回開催、受講者1,700人</p> <p>エ 課題 ゲートキーパーの養成を行う市町村等への技術的指導を行うなど、今後も引き続き地域での自殺対策が推進されるように取り組む必要がある。</p>	鳥取	4月	2(2)	6月	3(1)	8月	5(3)	10月	3(0)	12月	4(0)	米子	5月	1(0)	7月	1(0)	9月	1(1)	11月	2(1)		
鳥取	4月	2(2)	6月	3(1)	8月	5(3)	10月	3(0)	12月	4(0)													
米子	5月	1(0)	7月	1(0)	9月	1(1)	11月	2(1)															
<p>ひきこもり支援 機関連絡会</p> <p>※経費については 精神保健福祉セ ンター運営費の 標準事務費 (6,089千円) により対応</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 ひきこもりは、長期化すると社会生活を再開することが困難になることが多く、また、中には何らかの障がいや精神疾患を認める者もあり、精神科医療や障がい福祉サービスに繋ぐことが必要な場合もあることから、早期に介入し支援を行うことが重要である。関係機関が連携を図ることで総合的なひきこもり支援が行えるよう、専門的な立場から助言等を行う。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回（第二木曜日）開催 ・事例（実人員52人、延人員113人）について、支援にいたる経緯や支援内容等を情報交換し、今後の支援方針を検討した。 <p><連絡会の参加者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・とっとりひきこもり生活支援センター（県がNPO法人鳥取青少年ピアサポートに委託、ひきこもりの状態にある本人、保護者への相談を行なう） ・とっとり若者サポートステーション（国が社会福祉法人鳥取こども学園に委託、若者無業者本人及び保護者への職業的自立の支援を行なう） ・各総合事務所福祉保健局 																						

事業名	概要
	<p>イ 平成23年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の機関が関わり支援する事例が増えたことから、機関同士で、連携支援について話し合う時間を増やし、事例検討を行うこととした。 ・東中西部の各圏域にある福祉サービス事業所や障害者生活支援センター等の社会資源について情報交換し、連携の取り方などを検討することとした。 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連絡会が、ひきこもり支援の方向性や機関連携のあり方を検討し確認する場として定着し、当センターが精神保健福祉の立場で助言する事例検討が、各機関担当者の支援技術の研修機会となった。 ・事例検討を通じて、ひきこもり支援で利用できる障がい福祉サービスや社会資源を理解することができ、実際のひきこもり支援で活用し支援を展開することができた。 <p>エ 課題</p> <p>長期化したひきこもりをもつ家族は高齢化しており、特に40代後半以上の年齢になるひきこもり本人への支援は、社会参加を促す職場体験や就労支援だけでなく、地域で生活するための経済的支援や自立した生活をおくるための生活支援などが必要となることから、今後は、市町村福祉課や障がい福祉課等との連携を視野に入れた支援が必要である。</p>
<p>東部地区アルコール関連問題ネットワーク研究会</p> <p>決算見込額 30千円</p> <p>(財源内訳)</p> <p>国庫支出金 10千円</p> <p>一般財源 20千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <p>アルコール関連問題については、保健、医療、福祉の関係機関はもとより、職場、地域、家庭のなかにも様々な課題がある。それらの課題を解決していくためには、各関係機関が連携して取り組むことが必要である。各関係機関が、事例検討・情報交換を通してネットワークを作ることを目的に研究会を開催する。</p> <p>(イ) 実施状況</p> <p>本年度6回開催 (17頁参照)</p> <p>イ 平成23年度実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <p>昨年度、参加者から、継続参加している人向けに新しい話題や専門的な話題を提供する会と、異動などで新たに参加をする人向けに基本的なことの確認や、関係者の把握をする会と、メリハリがあれば良いのではとの提案があった。これを受けて、年度当初は基礎的な講義や、相談対応の際に紹介先となる様な家族教室、自助グループ等をテーマとし、後半では参加型の事例検討などを行うなど工夫した。</p> <p>ウ 成果</p> <p>それぞれの会で、テーマによって新たな参加者があり、「自助グループ等、関係者と知り合える機会が持てて良かった」、「実際の相談対応の中で紹介をしやすくなった」等の意見があった。</p> <p>エ 課題</p> <p>年度当初の会に新たに参加された参加者が、その後継続して参加することが少な</p>

事業名	概要
	<p>った。継続して参加してもらうことでネットワークが広がり、関係機関同士の連携がより円滑に図れるように、内容等について工夫していく必要がある。</p>
<p>精神障害者地域 移行支援強化事業</p> <p>決算見込額 200千円</p> <p>(財源内訳) その他 200千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 精神障がい者の地域移行支援にあたり、核となる人の育成、全体的な底上げを図ること等により、県地域移行・地域定着支援事業をバックアップする。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 [退院調整・地域移行支援従事者養成研修会] ・精神科における退院調整のアプローチについて実践的な研修会 (9/24開催、35名参加。16頁 第1日参照) ・精神科医療と地域サービスの現状についての講義と事例検討 (10/24開催、34名参加。16頁 第2日参照)</p> <p>イ 平成23年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 退院調整・地域移行支援をより普遍的なケアにするために、研修対象者を看護師等に絞り、より身近な支援として定着させていくことを中心に事業を実施した。2日間の全日程を終了した者(24名)には修了証を交付した。</p> <p>ウ 成果 医療機関等における地域移行支援に関する勉強会での取り組みが定着してきており、関係機関職員の意識向上や専門職のスキルアップにつながっている。</p> <p>エ 課題 地域移行支援事業をすすめる中で、精神障がい者が退院して地域生活を送るためには、医療機関および相談支援事業所での支援は今後より重要となる。 事業の理解や支援のスキルアップを図るために、相談支援事業所等の関係機関を対象とした研修会を行うこと、医療機関での普遍的で実践的な支援となるために、引き続き看護職を中心とした系統的な研修会を行うことが必要である。</p>
<p>くらしの講座</p> <p>決算(見込)額 217千円</p> <p>(財源内訳) 一般財源 217千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 精神障がいのある方が、講座を通して、病気や障がいの理解の促進、趣味活動の幅の拡大及び健康の増進を行うことで、地域で自分らしい生活をしていくことを支援する。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 ・開催日時 週2回(月・木曜日)午後1時30分～3時30分 ・4ヶ月1クールに期間を区切り、平成23年度12月末において2クール実施した。全講義の実利用者数及び延人数は、第2クール終了時点で実利用人数36名、延利用人数248名である。本年度新規受講者数は第2クール終了時点で10名である。 ・病気や障がいについて学び、自分らしく生活できるコツを考えていくことを目的とした学習講座を各クール毎週月曜日・5回シリーズで開催した。平成18年度より学習講座は開催してきているが、病気や障がいについて学ぶ機会のない方に多く来てもらえるように、今年度も同じ内容で第1、第2クールあわせて2回</p>

事業名	概要						
	<p>実施した。</p> <p>【講座内容】</p> <table border="0"> <tr> <td>1 学習講座</td> <td>2 健康管理講座</td> </tr> <tr> <td>3 リラックス講座</td> <td>4 ソフトバレーボール講座</td> </tr> <tr> <td>5 趣味講座（手芸）</td> <td></td> </tr> </table> <p>イ 平成23年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は健康管理講座（運動・睡眠講座・食事について）を開催した。運動では、太極拳を実施し、無理なく体を動かす方法を取り入れた。睡眠講座では、自分自身の生活について振り返る内容とした。食事については、普段の食生活を振り返ったり毎日の食生活を送るために利用できる身近な場についての情報交換を行い、それを基に簡単な食事やおやつ作りを行った。 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習講座において、同じシリーズで2回開催した結果、精神科医療機関通院中及び就労継続支援事業所等通所中の方の新規受講者が増え、普段の生活では機会の少ない学習や当事者同士の意見交換の場の提供ができた。 ・ソフトバレーボール講座において、受講者が自主的に練習を続けた結果、精神障がい者バレーボールの県大会で準優勝という成績を取めた。 ・健康管理講座において、振り返りや情報交換の機会を取り入れた結果、睡眠講座では、各自にあった睡眠方法の確認をする場となり、また、食事については、利用者から「食材やメニューについての話が聞けて参考になった」「利用できる身近な場の情報が役に立った」という感想が得られた。 <p>エ 課題</p> <p>当講座は、単一の医療機関・支援機関を利用することが多い精神障がい者にとって、他の医療機関等の利用者との相互交流及び情報交換が行える場となりつつある。学習講座や健康管理講座などにおいては、今後とも利用者の交流や情報交換が深まる内容の工夫をしていく必要がある。</p>	1 学習講座	2 健康管理講座	3 リラックス講座	4 ソフトバレーボール講座	5 趣味講座（手芸）	
1 学習講座	2 健康管理講座						
3 リラックス講座	4 ソフトバレーボール講座						
5 趣味講座（手芸）							
<p>精神保健福祉 研修会 （災害時のこころ のケア）</p> <p>決算（見込）額 50千円</p> <p>（財源内訳） 一般財源 50千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>（ア）目的</p> <p>東日本大震災においては、本県から保健師（県・市町村合同チーム）を43班宮城県に派遣した。この経験を今後の活動に役立てるため、被災地で行った地域保健活動やこころのケアを振り返りながら、災害時のこころのケアについての理解を深めた。</p> <p>（イ）事業の実施状況（18頁参照）</p> <p>開催日時 平成23年11月15日 参加者数 45名</p> <p>イ 平成23年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の東日本大震災では、多くの保健師（県・市町村保健師延べ86名）が被災地に支援に行っており、このタイミングを逃すことなく研修を開催した。 ・研修会の内容は派遣記録とあわせて報告書としてまとめ、参加できなかった保健師にも参考にしてもらおうことで、今後活かせるようにした。 						

事業名	概要
	<p>・このほかにも、東日本大震災以降、研修会等を開催している。</p> <p>(参考) ・平成22年度精神保健福祉研修会(災害時のメンタルヘルス活動) 開催日時 平成23年3月24日 参加者数 91名</p> <p>・「災害時のこころのケアの手引き」を作成・配布(平成23年3月)</p> <p>・「心の健康フォーラム(災害時の心のケア)」 開催日時 平成23年12月8日 参加者数 160名</p> <p>ウ 成果 多くの保健師が災害時のこころのケアについて理解を深めたことで、今後の保健師活動、県内での災害だけでなく通常の活動にも役立てることができる。</p> <p>エ 課題 特になし</p>

7 収入証紙取扱額調べ 該当なし

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金 該当なし

(2) 使用料

(平成23年12月31日現在)
(単位：円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
行政財産使用料	行政財産使用料	鳥取県精神障害者家族会連合会事務局の使用にかかるもの	2	24,769	24,769	0	0	鳥取県行政財産使用料条例	
		職員駐車場使用料	9	162,000	162,000	0	0	鳥取県行政財産使用料条例	
計(節)				186,769	186,769	0	0		
目計			11	186,769	186,769	0	0		
合計			11	186,769	186,769	0	0		

(3) 手数料 該当なし

(4) 財産収入 該当なし

(5) 諸収入

(平成23年12月31日現在)
(単位:円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
雑入	雑入	精神障害者家族 会連合会利用分 光熱水費等	2	8,573	8,573	0	0	公有財産事務取扱 要領	
		自立支援医療 意見書作成料	2	9,450	9,450	0	0	障害程度区分の医師 意見書の取扱い及び これに係る施行事務 補助金について(厚 生労働省事務連絡)	
目計			4	18,023	18,023	0	0		
合計			4	18,023	18,023	0	0		

(6) 現金の取扱状況 該当なし

9 収入未済額調べ 該当なし

10 未収金回収促進のための取り組み状況 該当なし

11 不納欠損額調べ 該当なし

1 2 負担金、補助金、交付金、委託料支出状況調べ

(1) 負担金

(平成23年12月31日現在)
(単位：円)

予算科目 (目)	予算令達額	負担金の名称	支出先	負担率	(支出年月日) 支出金額 (円)	支出の根拠法令 名等(規約、要領 等を含む)	備考
(精神衛生費) 支出額が10万円 未満のもの					() 60,000		
目 計					() 60,000		
合 計					60,000		

(2) 補助金 該当なし

(3) 交付金 該当なし

(4) 委託料 該当なし

1 3 工事請負費調べ 該当なし

1.4 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地 該当なし

イ 建物

(平成23年1月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考
			面積(m ²)	価格(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価格(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価格(円)	
行政財産	本館	鳥取市江津318-1	972.80	202,620,785					無		972.80	202,620,785	
	車庫	鳥取市江津318-1	32.50	4,757,295					無		32.50	4,757,295	
	自転車置場	鳥取市江津318-1	8.11	1,107,769					無		8.11	1,107,769	
合計			1,013.41	208,485,849							1,013.41	208,485,849	

ウ 山林 該当なし

エ 動産(船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機) 該当なし

オ 物権 該当なし

カ 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案権等) 該当なし

キ 有価証券 該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払い状況

(平成23年12月31日現在)

種別	前年度末	本年度中		本年度末	備考
		購入額	使用額		
郵便切手類	46,190 円	149,000 円	130,070 円	65,120 円	
合計	46,190	149,000	130,070	65,120	

イ タクシーチケットの受払状況

(平成 23年12月31日現在)

前年度末未使用枚数	本年度中		本年度末未使用枚数
	購入枚数	使用枚数及び金額	
160 枚	0 枚	3 枚 8,060 円	157 枚

(3) 債権 該当なし

15 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地 該当なし

イ 建物

(平成23年12月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先住所氏名	備考
							単価	本年度の貸付(使用)料		
行政財産	団体事務局	鳥取市江津318-1	3.3 m ²	H23.4.1	H15.4.1	H23.4.1 ~ H24.3.31	円 21,280	21,280	鳥取県精神障害者家族会連合会	
計								21,280		
普通財産		該当なし					月額・年額			
計										
合計								21,280		

(2) 物品 該当なし

- 1 6 借受不動産明細調べ 該当なし
- 1 7 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ 該当なし
- 1 8 自動車（二輪を除く）の管理状況調べ 該当なし
- 1 9 寄附物件の受納状況調べ 該当なし
- 2 0 備品の処分状況調べ 該当なし
- 2 1 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ 該当なし

